

## 第6回総会 議事概要

### (1) 報告事項に関する意見・質問

#### ①地域活性化部会 部会長

- ・第3工区にて、勝手に植栽をしたり、ゴルフをする人がいる。行政で看板を設置するなどして、禁止事項をアピールしてほしい。
  - ・夏場に遊水地の中で迷い込み、脱水症状になりそうな方を見つけた。遊水地は広いので、航空写真など、今どこにいるか分かるような看板を各工区に設置してほしい。
- ⇒検討させていただく。

#### ②ベーテル麻機部会 部会長

- ・オニバスについて、今年は第1工区で発芽せず第3工区で発芽したということだが、毎年同じ場所で見られると良いと思うので、どうしたら定着するか教えてほしい。
- ⇒(湯浅委員)実験をしてみないと分からない。

### (2) 議事事項

#### ○議事1：規約の改正について

協議会規約により総会に出席する専門員は4名の内2名となっていたが、各々専門分野が異なるため、4名全員が総会に出席するよう改正するとの提案が事務局からあり、拍手多数により承認された。

#### ○議事2：麻機遊水地保全活用推進活動費補助金交付要綱（案）

補助金交付要綱については委員から様々な意見があったが、今年度については今回提示した要綱を運用し、その結果を踏まえ再度内容について検討するということで、挙手多数により承認された。

#### ○議事3：平成30年度協議会補正予算（案）

補助金制度の運用に伴い補正予算（案）を提示し、挙手多数により承認された。

#### <議事2に関する意見・質問>

#### ①麻機学区自治会連合会 会長

- ・第4回合同部会の中で人件費に関してガイドラインを示してほしいと意見し、今回人権費が500円という説明があったが、500円に設定した根拠を教えてほしい。
- ⇒本協議会と同じように行政から補助を行っている事例として、愛知県岩倉市を参考とし500円と設定した。人件費については、今後運用していく中で皆様の意見を聞きながら再度検討していきたい。

②自然再生部会 部会長

- ・活動は無償で行っているが、草刈りに関しては大変な労力がかかる。また、草刈り機を使用できる人は限られているため、草刈りについては日当を支払って実施している。  
草刈りは遊水地の環境を守るためにも欠かせない作業であるため、一日 500 円は厳しいのではないかと思う。

③城北学区自治会連合会 会長

- ・人件費について岩倉市を参考にしたということだが、もともと補助金制度については佐鳴湖地域協議会を参考としていたが、佐鳴湖の協議会もこの様な設定なのか。  
⇒佐鳴湖地域協議会は、人権費は補助対象外であり、また申請金額の上限も 5 万円という設定である。佐鳴湖地域協議会は水質の改善が主な目的であり、本協議会は遊水地の自然再生及び地域活性化等も含めた取組みということで非常に範囲が広いため、佐鳴湖地域協議会を参考としてはいるが、そのまま踏襲することはできないと判断した。
- ・人件費を日当としてではなく弁当代として使用し、作業の参加者に弁当を配布することは問題ないか。その場で弁当を食べることにより、遊水地を身近に感じることが出来て良いと思う。  
⇒・人件費を弁当代として使用しても問題ないが、申請時に弁当代として受付することはできない。

④地域活性化部会 部会長

- ・草刈りの人件費については、業者に委託発注している金額を基準に検討して、再度検討していただきたいと思う。  
⇒今年度下半期は暫定的に今回提示した要綱を運用させていただいて、2 月に合同部会にて意見を聞き、内容を再度検討し、3 月の総会に諮らせていただきたい。

⑤ベーテル麻機部会 部会長

- ・消耗品費に「食糧費 補助対象事業に不可欠とされるもの」とあるが、例えば、部会の作業時に野点や、豚汁を作つて振る舞つたりなどしており、そういうことが活動の潤滑油的なものとなっているが、これらは「補助対象事業に不可欠とされるもの」に含まれるか。  
⇒これまで柴揚げ漁や遊水さくら祭りなどでも事務局から経費を出していった経緯もあり、イベントや作業の中で食事を振舞うための食材の購入費は対象とさせていただく。

⑥静岡市参与兼河川課長

- ・要綱の書き方について、第 2 条では「協議会会長」、第 6 条では「協議会長」、第 8 条では「会長」となっているため、書き方を統一した方が良い。
- ・第 6 条の中で申請期日が「12 月 15 日」となっているが、これは取組みを実施する年の前年であることが分かるように記載した方が良い。
- ・別表 4 使用料及び賃借料に「その他これに類するもの」の一言を追加した方が良いのではないか。  
⇒指摘の箇所について修正を行う。

⑦静岡県静岡土木事務所長

・第4回合同部会の中で補助対象となる具体的な事例を示してほしいという意見があり、本日議論したような部分が、実際に補助の対象となるか皆様が気にされているところだと思う。ぜひ今年の申請を受け付ける中で具体的な活動を見て、来年度に向けて再度要綱をご検討いただきたい。